

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「お猿島の大切岸」
さるはだけ おおさき 2018年2月25日撮影

神奈川県逗子市と鎌倉市の境にある山の尾根筋に「お猿島の大切岸」がある。高さ約3〜6メートルの垂直の崖がそり立っている。800メートルほどの長さで続いているので、なかなかの奇勝だ。厚く固い岩層が露出しており、よじ登ることはほとんどできない。

この言い伝えとして、鎌倉幕府が三浦一族の攻撃に備えて築いた城砦ともっともらしい説がある。しかし、平成14年度の考古学的な発掘調査によって石切り作業場の跡であることが判明している。私が見たところ、石切り場は部分的なものではなく、その多くは自然にできた崖だろう。自然の要害というべきだろう。

ここは名越切通なごしきりどおしに近く、まんだら堂跡（たくさんのやぐらがある）の名所も道筋にあるので、ついでに見て回りたい。

「みなせ」文芸の会要項

1 会員制

入会の資格等は、特にありません。執筆掲載希望の方、および購読希望の方であれば、どなたでもいつでも入退会できます。

2 年間会費

入会時と年初に千円を事務局に納入願います。
(懇談会の席で、直接納入でも可)

3 掲載負担金（一頁、原稿約2.5枚につき）

電子文書 400〜500円（発行時にかかった費用により確定）

手書き原稿も可能ですが、電子文書の±100円高となります。

4 掲載内容

小説、評論、随筆、詩歌など文芸作品に限りません。

5 年4回発行（季刊）

発行の数週間後に、合評・懇談会を主に神奈川県内で開催します。

6 問い合わせは事務局まで、奥付参照。

編集後記

このところ常連の執筆者二、三人の休筆（健康問題などのため）があつたり、集まる原稿枚数が不足気味であつたり、合評会の参加者も限定されてきているので、悩ましいところです。復活して原稿を寄せてくれた人もおられるけれど、「継続は力なり」の格言を思い出しつつ、編集に携わっているところです。（T.O）

「お知らせ」

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。
 - ・ホームページについては、以下のサイト、
<http://minasebungei.web.fc2.com>
を訪問してください。
- ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようにしています。

「会員へ」 本号の合評・懇談会は8月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までに、ご用意下さい。

「次号の予定」

原稿締切日	発行予定日
83号	83号
19年9月25日	19年11月1日

みなせ 第83号

発行日 2019年8月1日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@plala.to

製本 社会福祉法人神奈川県厚生協会 貴峯荘

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9